

Project Name

ツツジ山再生プロジェクト

歴史ある中庄の山を再び「コバノミツバツツジ」の名所に

2005年、中庄地区の歴史・文化を学ぶ「中庄の歴史を語り継ぐ会」が発足しました。帯江銅山を調べていくと、昭和の初め頃、銅山跡地がツツジの花見の名所であることがわかりました。北原白秋が作詞した「倉敷節」の歌詞にも「ツツジ山」の一節が出てきます。しかし、全山桃色に染まったのは過去の話。現在は雑木が生い茂り、ツツジの姿はまばらになってしまいました。そこで私たちは、地域の人々とともに里山にツツジの咲く風景を取り戻したいと考えました。

山の中に現存するツツジは「コバノミツバツツジ」という種類。その木から種子を採取し、播種、苗づくりをして町内の民家や道路縁に植栽を考えています。昨年は中庄小学校と倉敷自動車学校に苗木を贈り、大切に育てていただいています。また、様々なかたちで参加いただける仲間を集めたいと、写真コンテストや講演会も企画しています。今年度の写真審査は終え、倉敷北公民館や市役所のホールで応募作品の写真展、今秋には地域の自然を考える講演会を開催予定です。

これからも地域とのつながりを大切にしながら、ツツジの植栽を通じて、地域の創造の一助になることを目指したいと願っています。



左から順に：種の蒔き方／コバノミツバツツジ／中庄小学校苗の贈呈／苗の育て方講習会

Group Name

ツツジ山再生プロジェクト

昭和11年に作られた「倉敷節」(作詞/北原白秋、作曲/町田嘉章)にも登場する旧帯江銅山跡地の「ツツジ山」を復活させる活動を通して、市民の交流を活性化する。新設された用水路の護岸等に適切な場所を探して、植栽・育成したい。

【お問合せ】Tel・・・086-422-8065 Fax・・・086-422-8065 E-mail・・・kouzou5037@gmail.com

担当者名・・・竹井皓三 Web・・・<http://cillabo-2012.seesaa.net/category/24376994-1.html>



事業概要

事業の目的

ツツジの苗木の育成(年1000本)、植栽(年200本)を目標に、地域の人びと、自然とのふれあいを高め、ツツジの復活を通して環境美化に貢献する。

活動内容

参加者は昨年は5名、今年は10名になり、各家庭でツツジの苗づくりに取り組んでいる。苗木は中庄小学校、倉敷自動車学校などへ寄贈し、植栽を依頼。また、ツツジの写真展や講演会などを実施し、ツツジ復活の意識を高めています。

団体からのメッセージ

中庄の銅山跡地一帯をコバノミツバツツジで埋め尽くすために、私たちと一緒に種まきから始めませんか。

私たちが大切にしていること・・・自然をいたわる活動のために、銅山跡地に咲いていたツツジの種子から苗木を作ろうとしています。

この活動を通じて得たもの・・・ツツジの探索・種子の採集・苗木作りと、集まってくれた様々な方々と新たな交流を深めながら活動できたこと。

